

【講演会】

山田秀三と アイヌ語地名研究 をめぐって

「山田秀三さんと知里真志保
ー旭川の地名調査の思い出などー」

萩中美枝（アイヌ口承文芸研究者）

山田秀三氏が北海道で地名調査を始めた昭和30年代初頭から親交があり、多くの地名調査に同行した経験も有する萩中美枝氏から、萩中氏の夫・知里真志保（言語学者）と山田氏との交友や山田秀三氏の地名調査の様子などについて、旭川とその周辺の地名調査の思い出を中心にお話ししていただきます。

「山田秀三先生と
アイヌ語地名資料集成」

佐々木利和（文化庁文化財部主任文化財調査官）

山田秀三氏によるアイヌ語地名研究の特徴の一つとして、古い記録や地図などに関する徹底した資料調査を挙げることができます。山田氏が監修をつとめた『アイヌ語地名資料集成』（1989年）は、その蓄積の一端が形になったものです。近世を中心としたアイヌ文化史研究の第一人者であり、この資料集成の編集をつとめた佐々木利和氏から、収録された資料のあらましや山田秀三氏のアイヌ語地名研究についてお話ししていただきます。

講師紹介

1927年、北海道様似町生まれ。北海道庁立旭川高等女学校（現旭川西高等学校）卒業。NHK札幌放送局、市立旭川郷土博物館勤務のかたわらアイヌ口承文芸研究に携わる。日本口承文芸学会員。

講師紹介

1948年、北海道陸別町生まれ。法政大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京国立博物館資料第二研究室長などを経て、現在、文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官。日本近世史を中心に、特にアイヌ文化史、アイヌ絵の研究で高い評価を受けている。

日 時 平成17年7月23日（土曜日）

14:00～16:30

会 場 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室（定員130名）

旭川市神楽3条7丁目（旭川市博物館併設）

主 催 北海道立アイヌ民族文化研究センター
旭川市博物館文学館

参加無料

申し込み方法

ご希望の方は、旭川市博物館まで
お申し込みください。

予約受付は、6月1日から。

TEL：0166-69-2004

問い合わせ等連絡先

北海道立アイヌ民族文化研究センター

TEL：011-272-8801



■ 1 7月3日(日) 「山田秀三文庫の資料について」

古原敏弘 (北海道立アイヌ民族文化研究センター研究課長)

小川正人 (北海道立アイヌ民族文化研究センター研究職員)

北海道立アイヌ民族文化研究センターが所蔵する山田秀三文庫のあらましとその内容について、今回の展示に用いた文書資料や写真資料中心に紹介します。併せて、研究センターにおける山田秀三文庫の整理・保存と公開の進め方についても報告いたします。

■ 2 7月17日(日) 「旭川地方に伝承されるアイヌ音楽について」

甲地利恵 (北海道立アイヌ民族文化研究センター研究職員)

北海道立アイヌ民族文化研究センターでは、調査研究課題の一つとして「旭川地方に伝承されるアイヌの座り歌・踊り歌についての調査研究」を進めて参りました。その成果報告を中心に、旭川地方に伝承されるアイヌ音楽のあらましについて、実際に伝承者の方々に歌っていただいた録音テープなどを交えて解説します。

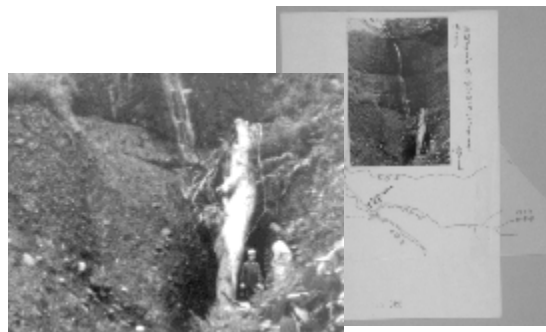
■ 3 7月31日(日) 「山田秀三先生と歩いた地名調査

～初山別の調査を中心にして～

高橋 基 (アイヌ語地名研究会幹事)

山田秀三氏による道北地域のアイヌ語地名調査に同行した経験を有し、また研究上の交遊も多かった旭川在住の高橋基氏から、山田氏の地名調査の思い出や山田氏との交遊から得たものなどについて、初山別での調査を中心に、当時の調査記録の資料なども使ってお話しいたします。

(山田秀三文庫中の初山別調査記録より、冷水の沢の滝)



■ 4 8月7日(日) 「アイヌ英雄叙事詩の世界」

萩中美枝 (アイヌ口承文芸研究者)



アイヌ口承文芸研究者であり、各地でのフィールドワークなどを通じて古老の方々とも交遊の多い萩中美枝氏から、旭川地方での調査の思い出などを交えながら、英雄叙事詩を中心としたアイヌ口承文芸の世界についてお話しいたします

(写真は左から、山田秀三、知里真志保、萩中美枝の各氏)

会場(各回とも) 旭川市博物館郷土学習室

時間(各回とも) 14:00～15:30

申し込み方法 旭川市博物館までお申し込みください。(TEL 0166-69-2004)

受け付け開始は、[1][2][3]は6月1日、[4]は7月1日からです。

(全回一括して申し込む場合は6月1日から受け付けます)

★講演会・講座ともに道民カレッジ連携講座です(ほっかいどう学 講演会:2単位 講座:全回受講で6単位)

※4月に配布された道民カレッジ連携講座の案内では、タイトルが「山田秀三とアイヌ語地名をめぐる」「山田秀三とアイヌ語地名・アイヌ文化」となっていますが、その後各回のタイトルを変更しました。ご注意ください。